

令和8年3月18日

国土交通省中部地方整備局

## 令和7年度 中部地方整備局入札監視委員会 第一部会 第2回定例会議等を開催しました

### － 議事及び審議概要を公表します －

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱により設置された学識研究者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

- 開催日時及び場所  
日時：令和8年2月2日（月）14時00分～16時00分  
場所：名古屋合同庁舎第2号館 3階 整備局大会議室
- 議事概要
  - 令和7年度 中部地方整備局入札監視委員会 第一部会 第2回定例会議  
令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月まで）に契約した工事等の中から抽出した6件の事案について、審議を行いました。  
内容については「表1」のとおりです。
  - 中部地方整備局入札監視委員会規則第2条第四号に係る審議事項の部会  
中部地方整備局入札監視委員会規則第2条第四号（局長が審議を要すると認める事項）を審議する部会を、開催しました。  
審議事案は2件で、内容については「表4」のとおりです。
- 配布先  
中部地方整備局記者クラブ
- 問い合わせ先  
中部地方整備局  
（運営に関すること） 主任監査官 後藤 雅剛 Tel.052-953-8113  
（審議内容に関すること） 契約管理官 早川 保弘 Tel.052-953-8138  
技術開発調整官 市川 幸治 Tel.052-953-8127

表1

令和7年度 中部地方整備局入札監視委員会  
第一部会 第2回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和8年2月2日（月）14時00分～15時40分 名古屋合同庁舎第2号館 3階 整備局大会議室	
委員	部会長：水野大（公認会計士） 部会長代理：金子敬明（名古屋大学 大学院 法学研究科 教授） 委員：萱場祐一（名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授） 鬼頭治雄（弁護士） 中筋由紀子（愛知教育大学 教育ガバナンス講座 教授） （委員は五十音順）	
審議対象期間	令和7年4月1日～令和7年9月30日	
抽出案件	総件数 6 件	審議案件は表2のとおり
【工事】		
一般競争入札方式	2 件	
随意契約方式	1 件	
【建設コンサルタント業務等】		
簡易公募型競争方式	1 件	
簡易公募型 プロポーザル方式	1 件	
【役務の提供等及び物品の製造等】		
随意契約方式	1 件	
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	意見・質問	回答
	表3のとおり	表3のとおり
委員会による 意見の具申 又は勧告の内容	なし	

表2

## 抽出事案一覧表

(期間：令和7年4月1日～令和7年9月30日)

## 【工事】

番号	工事名	工種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
1	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 令和7年度 設楽ダム設楽大橋塗替工事	塗 装	6	6	R7.9.3	(株)愛知シンコー	304,359	91.00	設楽ダム工事事務所(分任官契約)
2	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 令和7年度 三遠道路新城地区舗装工事 (随意契約方式)	アス舗装	8	8	R7.7.18	大有建設(株)	191,180	91.61	浜松河川国道事務所(分任官契約)
3	令和7年度 浜松東税務署空調設備改修工事	暖冷房衛生	4	3	R7.7.15	(株)トダックス	170,500	80.06	静岡営繕事務所(分任官契約)

## 【建設コンサルタント業務等】

番号	業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
4	(簡易公募型競争入札方式) 令和7年度 東紀州地区南部水文観測業務 (簡易公募型プロポーザル方式)	測 量	8	8	R7.8.18	(株)パスコ	65,681	82.00	紀勢国道事務所(分任官契約)
5	令和7年度 中部地整管内(愛知・三重地区)橋梁診断業務	土木コン	1	1	R7.4.1	(一財)橋梁調査会	277,420	99.98	中部道路メンテナンスセンター(分任官契約)

## 【役務の提供等及び物品の製造等】

番号	業務名	業務種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
6	(一般競争入札方式) 令和7年度 長島ダム昇降設備保守点検業務	役務の提供等	1	1	R7.4.1	三菱電機ビルソリューションズ(株)	13,602	84.74	長島ダム管理所(分任官契約)

表3

委員からの意見・質問、それに対する回答等

(1) 報告 1		
①工事に係る入札方式別発注工事一覧 ②建設コンサルタント業務等に係る入札方式別発注業務一覧 ③役務の提供等及び物品の製造等に係る入札方式別発注業務一覧 ④談合情報等の対応状況 ⑤指名停止等の運用状況一覧表 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑧一者応札の発生状況 ⑨不調・不落の発生状況 ⑩高落札率の発生状況		
	意見・質問	回 答
	なし	

(2) 報告 2		
建設コンサルタント業務等に係る入力ミス事案の発生状況		
	意見・質問	回 答
	なし	

(3) 審 議		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び工事種別等を考慮したうえで抽出したものである。		
抽出案件名	意見・質問	回 答
1. 令和7年度 設楽ダム設楽大橋塗替工事	競争参加資格として求める実績の要件を「平成22年以降」と比較的長い期間設定しているが、塗装工事だから長い期間を設定しているのか。	塗装工事に限らず「工事調達における 総合評価落札方式の運用ガイドライン」に基づき、過去15年以内に元請けとして同種又は類似工事の完成・引き渡し完了した施工実績を有することを確認する設定としている。
	評価項目のうち、企業の実績等の配点が「19点」と端数になっている理由は何か。	「工事調達における 総合評価落札方式の運用ガイドライン」に基づき、塗装工事については、企業の実績等のうち、地域精通度に関する評価項目の一部が対象外となるため、最大加算点が「19点」になっている。
2. 令和7年度 三遠道路新城地区舗装工事	参加資格の実績について、先ほど「平成22年度」についての説明がありましたが、舗装工事においても同じ取り扱いという理解でよろしいでしょうか。	はい。 舗装工事においても、ガイドラインに則り過去15年間における実績を評価している。
3. 令和7年度 浜松東税務署空調設備改修工事	不調随意契約において、参加の意思表示後に辞退することはよくあるのか。	下請け業者の確保ができなくなったことや配置予定技術者が担当していた別の工事が工期延期となり、予定していた技術者を配置できなかったことが辞退した理由となっている。
	参加者が少ない理由は何か。	営繕工事は近年参加者が少ないことから、参加要件の緩和などの工夫を講じているが、参加者の拡大には至っていない。一般的に言われている技術者不足が原因と考えられる。
	参加意思の確認を「30者ずつ3回」行うと計90者と思われるが、結果95者行っている理由は何か。	業者選定表の90者目以降の評価点が95者目まで同点となっていることから、95番の者まで受注意思の確認を行っている。
4. 令和7年度 東紀州地区南部水文観測業務	企業の実績等に差があるが、最終的に同額入札でくじ引きとなることに問題はないのか。	簡易公募型競争方式の企業の実績等は、指名業者選定のための基準で、落札は価格のみの競争となる。入札金額が同額の場合は予算決算及び会計令の規定によりくじ引きとなる。

抽出案件名	意見・質問	回 答
5. 令和7年度 中部地 整管内(愛知・三重 地区)橋梁診断業 務	橋梁の点検業務は別途発注しているのか。	橋梁の点検業務と診断業務(健全性評価)は別に発注している。点検業務は各事務所ごとに発注をし、診断業務は橋梁の健全性を診断するものであり、技術的な統一性が必要であることから、当センターにて発注している。
	昨年度も同じ受注者だが、他社の参入余地はあるのか。	競争参加資格要件を満たす者は、224者存在することから、特定の業者しかできない業務ではないと考えている。また、他地整では、過去に建設コンサルタントが受注している事例もある。
	落札率が99.9762%と高い理由は何か。	簡易公募型プロポーザル方式のため、予定価格は、特定された業者からの見積りに基づく積算をしていることから、契約額は予定価格に近い金額となる。
	入札説明書には「過年度からの継続的な業務であり、以下の業務成果を踏まえて検討を行う」とあるが、同一業者である必然性はないのか。	過年度成果は本業務受注者に貸与することとしており、過年度受注者と同一である必要はない業務である。
6. 令和7年度 長島ダ ム昇降設備保守点 検業務	配置予定技術者の資格区分を見ると専門性に差があるが、同等扱いて問題はないのか。	昇降機の点検はJISの検査基準に基づく点検であり、入札参加資格に設定しているいずれかの有資格者であれば、保守点検を実施することが可能である。

表4

## 局長が審議を要すると認める審議事項の部会 審議概要

開催日及び場所	令和8年2月2日（月）15時40分～16時00分 名古屋合同庁舎第2号館 3階 整備局大会議室	
委員 （委員は五十音順）	部会長： 水野大 （公認会計士） 部会長代理： 金子敬明 （名古屋大学 大学院 法学研究科 教授） 委員： 萱場祐一 （名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授） 鬼頭治雄 （弁護士） 中筋由紀子 （愛知教育大学 教育ガバナンス講座 教授）	
審議	当部会では、中部地方整備局入札監視委員会規則第2条第四号に基づき、局長が審議を要すると認める審議事項（表5）を、第一部会委員に、その対象事案の契約方式の決定や応募要件等の設定の理由及び経緯について、審議して頂いた。	
審議事項	意見・質問	回答
局1. 令和7年度 一般県道 松原芋島線川島地区 工食用栈橋設置工事	3件一括審査方式における落札決定の順番はどのように決めているのか。	一般的には予定金額の大きい工事から順に開札及び落札決定を行っている。
	開札及び落札決定は同日に3工事をを行うのか。	3工事の開札及び落札決定は同日に順に行い、先に落札した時点で当該落札業者の次の開札以降の入札書は無効扱いとなる。
	工期が工事ごとに異なる理由は何か。	工事1については、フレックス制度活用により着手日が8月18日となった。工事2は仮橋の管理期間を含むため工期を3月27日までとした。工事1及び3は設置完了後の片付け・資料整理。検査準備を含めて工期を1月23日までとした。
	被災から工事着手まで時間がかかった理由は何か。	出水により橋脚が傾斜し上部工も変形するなど特異な被害であり、有識者会議で復旧方法を検討する必要があったことに加え、通学路を確保するための仮橋の先行設置、既設橋の撤去、鋼桁の工場製作期間などに要する時間が必要であった。
局2. 令和7年度 大井川中 河護岸工事	工期が10月～3月なのは河川の流量の関係か。	河川工事は非出水期の施工が原則。加えてアユの産卵期等も考慮して、この工期設定とした。
	契約日が9月と工事着手の直前だが問題ないのか。	並行作業を行うことにより、クリティカルパスを圧縮せず、工期として5か月で十分完了可能である。契約から工事着手までは、1か月程度確保されていることから、契約時期としては妥当と判断している。
	工期が短い案件として抽出された理由は何か。	一般的な非出水期施工の河川工事であるが、契約金額（1億円超）に対し、一般的な土木工事と比較して工期が5か月と短いため抽出された案件である。
	翌年度以降の工事は、施工延長が長くなるため、さらに工期が厳しくなるのではないか。	翌年度以降の工事については、非出水期は4月～5月も含まれるため、施工期間を確保できる。本年度の工事は年度末までに完了可能と判断して工期設定した。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

表5

入札監視委員会規則第2条第四号審議事項

抽出事案一覧表

(期間：令和7年4月1日～令和7年9月30日)

【工事】

番号	工事名	工種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
1	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 令和7年度 一般県道松原芋島線川島地区工用栈橋設置工事	一般土木	5	5	R7.7.3	(株)市川工務店	272,250	95.12	岐阜国道事務所(分任官契約)
2	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 令和7年度 大井川中河護岸工事	一般土木	7	7	R7.9.25	(株)アーク東海	106,436	90.91	静岡河川事務所(分任官契約)